別添2

提案書作成上の注意

１．提案書は、次頁以下の記載例に従って記入してください。

２．ファイルは、Ａ４サイズで印刷可能なサイズとしてください。

３．提案書の下中央にページを入れてください。

４．提出の際は、吹出しおよび青字は削除してください。

（提案書記載様式）

***提出の際は、吹出しおよび青字は削除してください。***

□ 応募連絡先の機関（代表機関）　／　□ 連名提案者の機関（連名機関）

*複数機関による連名提案の場合は、連絡窓口となる機関（**応募連絡先の代表機関）を定めてください。*

*本表紙は機関ごとに１枚作成し、上記のいずれかの□を■に塗りつぶし、代表機関を先頭としてください。再委託先・共同実施先の提出は不要です。*

*エネルギー・環境新技術先導研究プログラム*

*新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム*

*のどちらかを記載してください。*

 [表　紙]

「ＮＥＤＯ先導研究プログラム／●●●●」に対する提案書

研究開発テーマ名

　　「○○○○○○○○○○○○○○○の研究開発」（２０字以内を目安、３０字以内）

*課題番号と課題名を記載してください。*

対象の研究開発課題　　「●●●●●●」

 ２０○○年○○月○○日

上記の件について貴機構の委託事業を受託したく、下記の代表者名で提案いたします。

*法人名は、登記簿に記載されている名称を記載してください。*

*■法人番号は、国税庁の法人番号公表サイト(*[*https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/*](https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/)*)などを用い記載してください。（13桁）*

機関名（法人名）　　○○○○○株式会社（*法人番号*）

代表者役職・氏名　例　代表取締役社長　○○　○○／□□大学学長　○○　○○

*※法人の代表者は委託契約を決裁できる方（企業の場合は代表取締役社長、大学等の場合は当該機関の長）を記載ください。大学法人の多くは、学長（総長）が代表者となりますが、組織の手続き上認められている場合には、契約決裁のできる組織、組織長を記載してかまいません。*

*※姓名の間に全角スペースを入れてください。*

所在地　　○○県○○市・・・・・　　（郵便番号○○○－○○○○）

*連絡担当者の連絡先は本提案に関する問合せに対応できる方（研究開発責任者等）としてください。連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載してください。*

連絡担当者の連絡先

　　　　　所　属　○○○部　△△△課

　　　　　役職名　○○○○○

　　　　　氏　名　○○　○○（ふりがな）

　　　　　所在地　○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）

　　　　　ＴＥＬ　△△△△－△△－△△△△　内線　△△△△

　　　　　ＦＡＸ　△△△△－△△－△△△△

　　　　　e-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radにおける研究機関コード（１０桁） | ○○○○○○○○○○ |

 **[本文・要約]**

２０○○年○月○日

*複数事業者で提案する場合はすべて併記してください。*

*一番上に代表事業者を記載してください。*

*（再委託先等は不要）。*

法人名：○○株式会社

国立大学法人△△大学

国立研究開発法人□□研究所

|  |  |
| --- | --- |
| 1.研究開発テーマ名 | 「○○○○○○○○○○○○○○○の研究開発」*（表紙に記載のもの）**＊２０字程度、３０字以内。特殊文字は使用しないでください。* |
| 2.研究開発課題 | 「●●●●●●」*（表紙に記載のもの）**＊対象の課題番号と研究開発課題を記入してください。* |
| 3.研究開発テーマの技術的ポイント | *＊研究開発の技術的ポイントを２００字以内で****簡潔に****記載（図表は使用しないこと）*（文例：本提案は、○○○において、●●するため、○○○を開発する。　*以下の①～⑤を参照し、特に重要な技術的ポイントを記載してください）*1. *社会的問題を解決するためにどのような革新的技術を創出するのか*
2. *既存技術や競合技術に対する優位性*
3. *提案技術が社会実装された場合の波及効果やインパクト*
4. *基礎研究実績等を踏まえた課題達成手段の妥当性*
5. *国家プロジェクト化や社会実装に向けたシナリオや構想*
 |
| 4.研究開発のフェーズ（技術成熟度）*提案する研究開発テーマに該当する技術成熟度TRLを自己評価し、いずれか一つを□を■に塗りつぶしてください。* | □　TRL 1：科学的な基本原理・現象の発見・確認□　TRL 2：原理・現象の定式化、応用可能性の確認、応用的な研究□　TRL 3：技術コンセプトの確認、要素技術の構想（創案・調査・予備実験・設計など）□　TRL 4：各開発要素の製作と性能確認、応用的な開発（要素レベル）□　TRL 5：全てを統合した実証システム（試作品）の製作（要素レベル）□　TRL 6：実証システム（試作品）の導入環境に近い環境での実証（システムレベル）□　TRL 7：製品候補の製作と導入環境での実証（システムレベル）□　TRL 8：製品の製作と販売（パイロットライン）□　TRL 9：商品化、大量生産※TRLは各種文献を踏まえ作成 |
| 5.研究開発テーマの予定実施期間 | ２０２５年５月～２０２●年３月（●年間） |
| 6.研究開発テーマの必要経費概算（税込み） | ①総額：○○百万円（②＋③＋④）②2025年度（2025年5月～2026年3月）：○○百万円③2026年度（2026年4月～2027年3月）：○○百万円④2027年度（2027年4月～2028年3月）：○○百万円*＊実施予定期間を通じてのテーマ全体の必要経費（間接経費、税金含む）を記載**＊「百万円」単位で総額及び年度毎の金額を記載**＊実施期間が2年の提案は①②③を、1年の提案は①を記載* |

**［本文-Ⅰ．研究開発テーマに関する情報］（２０ページ以内）**

*＊本文－１（項目１．研究開発の内容及び目標）は２０ページ以内で作成してください。*

*＊必要に応じて図表等を挿入してください。*

*＊情報の参照先としてURL等を記載する場合は、審査者が閲覧可能であること（限定公開されているサイトでないか、URL等が間違っていないか）を十分に確認してください。*

１. 研究開発の内容及び目標

１－１. 研究開発の内容

＜研究開発の目的＞

*研究開発によって、どのような社会を創成したいのか、どのような社会的問題を解決したいのかなどの目的や背景を簡潔に記載してください。*

＜研究開発の概要＞

*研究開発テーマ全体の概要を簡潔に記載してください。*

＜研究開発の内容＞

*\*「対象の研究開発課題」を達成するために提案する研究開発テーマの内容について、記入例を参考に具体的に記載してください。*

*\*「１－２．研究開発の目標」に到達するための技術的課題を設定し、その課題を達成する手段や方法について、わかりやすく具体的に説明してください。*

*記述に当たっては、従来の発想によらない革新的、独創的な着眼点やアプローチであることを、国内外の競合（同種、異種）を含めた既存技術のベンチマークを簡潔に説明し比較した上で、本事業で実施する研究開発テーマがどの程度優れているのかが明確になるように、①②③についてわかりやすく説明してください。*

1. *どのような点が、インパクトの高いチャレンジであるのか。*
2. *どのような点が世界のトップレベルの研究開発であるのか。*
3. *どのような点が新規性、独創性、革新性があるのか。*

*＊また、実現の見通しについて、事前検討データなどの具体的な根拠を示しつつ説明してください。*

*＊再委託先又は共同実施先を含め、全ての委託先の役割分担がわかるように説明してください。更に再委託先又は共同実施先とした理由を記述してください。*

*＊大学・公的研究機関等からの再委託又は共同実施は、認めておりません。*

*＊当該委託業務の全部又は一部について、技術研究組合等が代表して応募する場合、参画する各企業等及び組合等のそれぞれの役割分担を明確に記載してください。*

**【記入例】―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――**

研究項目Ａ．○○技術の開発（担当：○○株式会社、再委託●●株式会社、▲▲大学）

研究開発の内容

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

A-1．○○○の調査

A-2．○○○の開発

研究項目Ｂ．◇◇評価技術の開発（担当：△△大学、□□研究所）

研究開発の内容

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

B-1．○○○の研究

B-2．○○○の研究

１－２. 研究開発の目標

*＊記入例を参考に、研究項目ごとに実施機関及び実施時期が明らかになるように記入してください。*

*研究実施予定期間は最長３年間（２０２８年３月まで）の計画としてください。*

*＊事業期間が３年の計画の場合は２年時点、２年の計画の場合は１年目下期を中間とし、中間評価を行います。*

*＊中間目標（性能、定量的な数値等）及び最終目標（性能、定量的な数値等）を設定し、簡潔に説明してください。数値目標が困難な場合は、進捗度を評価できる目標としてください。（「△△△△が可能なこと。」、「○○○○式であること。」、「△△△△については○○以上であること。」、「○○個以上について△△する。」、その他、可能な限り具体的かつ定量的な表現により記載）*

*＊事業開始予定（２０２５年５月）から年度毎の達成目標（マイルストーン）についてもそれぞれ記述してください*

**【記入例】―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――**

研究項目Ａ．○○技術の開発（担当：○○株式会社、再委託●●株式会社、▲▲大学）

A-1. ○○○の調査（実施期間：○年○月～○年○月）

中間目標（２０２７年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

最終目標（２０２８年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

事業開始から年度毎の達成目標*（可能な限り具体的かつ定量的な表現によりマイルストーンを記載）*

２０２６年３月：○○○○○

２０２７年３月：○○○○○

２０２８年３月：○○○○○

A-2. ○○○の開発（実施期間：○年○月～○年○月）

中間目標（２０２７年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

最終目標（２０２８年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

事業開始から年度毎の達成目標*（可能な限り具体的かつ定量的な表現によりマイルストーンを記載）*

２０２６年３月：○○○○○

２０２７年３月：○○○○○

２０２８年３月：○○○○○

研究項目Ｂ．◇◇評価技術の開発（担当：△△大学、□□研究所）

B-1. ○○○の研究（実施期間：○年○月～○年○月）

中間目標（２０２７年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

最終目標（２０２８年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

事業開始から年度毎の達成目標*（可能な限り具体的かつ定量的な表現によりマイルストーンを記載）*

２０２６年３月：○○○○○

２０２７年３月：○○○○○

２０２８年３月：○○○○○

B-2. ○○○の研究（実施期間：○年○月～○年○月）

中間目標（２０２７年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

最終目標（２０２８年３月）：（「△△△△が○○以上」、「○○について△△を達成」

事業開始から年度毎の達成目標*（可能な限り具体的かつ定量的な表現によりマイルストーンを記載）*

２０２６年３月：○○○○○

２０２７年３月：○○○○○

２０２８年３月：○○○○○

計画表

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目（研究機関名） | 研究開発期間 |
| 研究開始～2026年3月 | 2026年4月～2027年3月 | 2027年4月～2028年3月 |
| 研究項目Ａ．○○技術の開発（担当：○○株式会社、再委託●●株式会社、▲▲大学）A-1. ○○○の調査A-2. ○○○の開発研究項目Ｂ．◇◇評価技術の開発（担当：△△大学、□□研究所）B-1. ○○○の研究B-2. ○○○の研究 |  |  |  |

*＊計画表は、研究項目ごとに可能な限り具体的に記入してください。*

*＊研究開発期間が３年の場合は、破線（2027年1月頃（予定））が中間評価の時期となります。*

*＊研究項目の名称は提案書［本文］１－１．の名称と同一にしてください。*

１－３. 研究開発成功時の波及効果・インパクト

*本項目では、最終的な開発成果が得られた場合に、どのような波及効果があるか、また、どのようなインパクトを社会に与えるかを記載ください。その際、我が国の経済活性化の実現に努めることを念頭においてください。社会実装のイメージとインパクトの説明に際しては、図表を用いてわかりやすく説明してください（下記図表例参照）。*

***【エネルギー・環境新技術先導研究プログラムの場合】***

*想定される効率、寿命等の技術目標を明示し、社会実装による経済的効果（効率向上、コスト削減等）や、産業・環境への波及効果等のインパクトを記述してください。*

*「実用化時の経済的効果（効率向上、コスト削減等）」、「省エネルギー効果（原油換算＝〇〇ｋＬ／年）、CO*2*削減効果（CO*2*排出削減量＝〇〇 ton-CO*2*／年）」を概算して記述してください（間接的な効果を含む）。*

（参考）標準発熱量・炭素排出係数（総合エネルギー統計）

<https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/total_energy/carbon.html>

***【新産業・革新技術創出に向けた先導研究の場合】***

*想定される効率、寿命等の技術目標を明示し、新産業創出効果等を記述してください。*

*新産業創出効果等の記述では、社会実装後の市場規模（○○円／年）を示し、その根拠を定量的に記述してください（現状及び社会実装後の市場規模についてそれぞれ記述してください。また、市場におけるシェア推移の見通し、その根拠についても記述してください）。*



１－４.国家プロジェクト化や社会実装に向けてのシナリオ・構想

*＊本項目では、本事業実施後に、どのような国家プロジェクト等の本格的な研究開発に発展させ、社会実装につなげていく計画であるかを説明ください。社会実装に至るまでのシナリオを、研究開発の長期的・全体的な構想とともに具体的な道筋を示しながら記述しください。*

*＊「シナリオ・構想」に関しては、①「技術課題」、②「開発目標性能」、③「スケジュール」、④「体制」等それぞれを説明してください。*

***【エネルギー・環境新技術先導研究プログラムの場合】***

*＊革新的抜本的な省エネルギー技術、飛躍的なエネルギー効率の向上や脱炭素社会を実現するためのシナリオを記述してください。*

***【新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラムの場合】***

*＊創出された革新的技術・システムにより社会課題の解決を図り、産業競争力向上、新市場創出や生産性向上及び新産業創出に結び付くシナリオを記述してください。*

*＊本提案の研究開発以外の技術的に重要な課題も提示の上、全体像について記述し、各課題の相互の関係を明確にしながら、本事業で実施する内容の位置付けを論理的に説明してください。なお、説明に際しては、ベンチマークを明らかにし、適宜俯瞰図等を用いてください（下記図表例参照）。*



【提案技術に関連する国家戦略について】

*＊提案技術と関係する国家戦略を以下から選択（□を■に黒塗り）し、提案技術との関係を簡潔に説明してください。*

*＊他に該当すると思われる戦略がある場合には、「その他」を選択（□を■に黒塗り）し、当該国家戦略を（　）に記載の上、提案技術との関係を簡潔に記載してください。*

*なお、該当する戦略が無い場合は「該当無し」を選択（□を■に黒塗り）してください。*

□統合イノベーション戦略2024 (2024年6月4日閣議決定)

□革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）

□2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和3年6月18日策定）

□量子産業の創出・発展に向けた推進方策（令和6年4月9日量子技術イノベーション会議より報告）／量子未来産業創出戦略（令和5年4月14日統合イノベーション戦略推進会議決定）／量子未来社会ビジョン（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）／量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）

□AI戦略2022（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）

□バイオ戦略フォローアップ（令和3年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定）

□マテリアル革新力強化戦略（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）

□産業技術ビジョン2020（令和2年5月29日経済産業省）

□「安全・安心」の実現に向けた科学技術・イノベーションの方向性（令和２年１月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）

□半導体・デジタル産業戦略（令和5年6月経済産業省商務情報政策局決定）

□該当無し

□その他（○○○○○）

＜選択した国家戦略と提案技術の関係＞

*＊本提案が、前記の政策又は長期ビジョンの形成に有効である点を説明してください。具体的には、将来の技術ロードマップの延長線上にある政策課題の解決に資する点や、開発成功時の政策的インパクトが大きく、国家プロジェクト等として取り組むべきと考えられる点などを記載してください。*

**［本文-Ⅱ．実施体制、予算等に関する情報】］**

２. 実施体制

*再委託・共同実施先を除く全ての実施機関について記載してください。*

２－１. 研究開発責任者

　　研究実施機関名：　○○株式会社

研究開発責任者：　所属・役職・氏名　○○部　主幹研究員　○○　○○

　　　　　　　　　　　電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

　　　　　　　　　　　E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　研究実施機関名：　△△大学

研究開発責任者：　所属・役職・氏名　○○学部○○研究室　教授　○○　○○

　　　　　　　　　　　電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

　　　　　　　　　　　E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　研究実施機関名：　□□研究所

研究開発責任者：　所属・役職・氏名　○○部門○○研究グループ　グループ長　○○　○○

　　　　　　　　　　　電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

　　　　　　　　　　　E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

*＊研究開発責任者とは、本提案の実施体制内の機関（代表機関および連名機関）に所属する主要研究者であって、各実施機関ごとに研究者を総括、代表していただきます。*

*＊ＮＥＤＯから研究開発テーマ全体への問い合わせに対応いただける方です。*

２－２．研究開発責任者研究経歴書

研究開発責任者研究経歴書（別添4）に記載の通り。

*＊代表機関と連名機関の研究開発責任者について、研究開発責任者研究経歴書（別添4）に記入し、添付書類として提出してください。*

２－３. 管理者（連名提案の場合、機関毎に記載）

*＊代表機関と連名機関の全て記入してください（再委託先、共同実施先についての記入は不要です）。*

　　研究実施機関名：　○○株式会社

　　業務管理者：　所属・役職・氏名　○○○○○部　部長　○○　○○

　　　　　　　　　　　電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　経理責任者　　：　所属・役職・氏名　　○○○○○部○○課　課長　○○　○○

　　　　　　　　　　　電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

研究実施機関名：　△△大学

　　業務管理者：　　所属・役職・氏名　○○○○学部　教授　○○　○○

電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

経理責任者：　　所属・役職・氏名　　○○○○○部○○課　課長　○○　○○

電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

研究実施機関名：　□□研究所

　　業務管理者：　　所属・役職・氏名　○○○○部門　部門長　○○　○○

電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

経理責任者：　　所属・役職・氏名　　○○○○○部○○課　課長　○○　○○

電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線）

E-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

*＊業務管理者とは、ＮＥＤＯ委託業務を遂行する際に、実施機関ごとの業務管理における責任者です。研究開発責任者との兼任可。委託業務の遂行を管理し、各種文書の提出等に責任を持つ実務者であることが必要です。*

*＊経理責任者とは、ＮＥＤＯ委託費の使い方を管理する実施機関ごとの責任者です。経費発生調書の記載、発生経費に係る証憑書類の整理、検査対応等に責任を持つ実務者であることが必要です。*

２－４. 実施体制図

*＊本研究開発を受託した時の実施体制について、各機関の役割が分かるようExcelで実施体制図を作成してください。再委託先、共同実施先があるときはそれらも含めて記入してください。別添3「体制図、総括表」を参照して作成し、図として貼り付けてください。作成したファイルはExcelファイルの形式でも提出いただきます。*

（例　示）

「＊＊＊＊の研究」実施体制

ＮＥＤＯ

 委託

□□研究所

・研究実施場所：

○○センター（茨城県つくば市）

・研究項目：◇◇評価技術の開発

△△大学

・研究実施場所：

○○研究室（東京都目黒区）

・研究項目Ｂ：◇◇評価技術の開発

○○株式会社

・研究実施場所：

○○開発センター（愛知県名古屋市）

・研究項目Ａ：○○技術の開発

再委託

*機関ごとに、研究実施場所、実施項目を記載してください。*

*研究項目は、１－１項の名称と同一にしてください。*

●●株式会社（大阪府東大阪市）

・研究実施場所：○○開発センター

○○○の開発

▲▲大学（福岡県福岡市）

・研究実施場所：○○研究室

○○○の調査

*提案者が企業の場合は、下表に必要事項を記載してください。*

　【体制一覧】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名称 | 従業員数（人） | 資本金（億円） | 課税所得年平均額15億円以下 | 大･中堅・中小・ベンチャー企業の種別 | 会計監査人名 |
| 株式会社Ａ |  |  |  |  |  |
| 有限会社Ｂ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

*直近過去3年分の各事業年度の課税所得の年平均額。該当する場合「○」を記載してください。*

*従業員数、資本金は応募時点を基準としてください。*

*会計監査人の設置がない場合は”なし”と記入ください。*

*大企業、中堅・中小・ベンチャー企業の種別は以下の（参考）の定義を参照してください。会計監査人の設置については、会社法337条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。なお、大会社・委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができ、設置されている場合は公認会計士または監査法人名を記載してください。*

***＜参考＞企業種別の定義***

***◆中堅・中小・ベンチャー企業の定義***

*以下の（ア）（イ）（ウ）又は（エ）のいずれかに該当する企業等であって、大企業等の出資比率が一定比率を超えず（注）、かつ、直近過去3年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が15億円を超えないものをいいます。*

*（注）次の企業は、大企業等の出資比率が一定比率を超えているものとします。*

*・発行済株式の総数又は出資の総額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している企業*

*・発行済株式の総数又は出資の総額の3分の2以上が、複数の大企業の所有に属している企業*

*・資本金又は出資金が5億円以上の法人に直接又は間接に100％の株式を保有されている企業。*

*（ア）「中小企業」としての企業*

*中小企業基本法第2条（中小企業者の範囲及び用語の定義）を準用し、次表に示す「資本金基準」又は「従業員基準」のいずれかの基準を満たす企業です。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *主たる事業として営んでいる業種※1* | *資本金基準※2* | *従業員基準※3* |
| *製造業、建設業、運輸業及びその他の業種（下記以外）* | *3億円以下* | *300人以下* |
| *卸売業* | *1億円以下* | *100人以下* |
| *サービス業* | *5千万円以下* | *100人以下* |
| *小売業* | *5千万円以下* | *50人以下* |

*※1　業種分類は、「日本標準産業分類」の規定に基づきます。*

*※2 「資本金の額又は出資の総額」をいいます。*

*※3 「常時使用する従業員の数」をいい、家族従業員、臨時の使用人、法人の役員、事業主は含みません。また、他社への出向者は従業員に含みます。*

*（イ）「中小企業者」としての組合等*

*以下のいずれかに該当する組合等をいいます。*

*１．技術研究組合であって、その直接又は間接の構成員の3分の2以上が（ア）の表の「中小企業者」としての企業又は企業組合若しくは協業組合*

*２．特許法施行令10条第2号ロに該当する事業協同組合等（事業協同組合、事業協同小組合、協同組合連合会、企業組合、協業組合、商工組合及び商工組合連合会）*

*（ウ）「中堅企業」としての企業*

*常時使用する従業員の数（注）が2,000人以下かつ資本金の額又は出資の総額が 10 億円未満の企業であって、中小企業を除いたものをいいます。*

*（注）常時使用する従業員には、家族従業員、臨時の使用人、法人の役員、事業主は含みません。また、他社への出向者は従業員に含みます。*

*（エ）研究開発型ベンチャー*

*以下の条件をすべて満たす企業をいいます。*

*・試験研究費等が売上高の3％以上又は研究者が2人以上かつ全従業員数の10％以上であること。*

*・未利用技術等、研究開発成果が事業化されていない技術を利用した実用化開発を行うこと。*

*・申請時に上記要件を満たす根拠を提示すること。*

*◆大企業の定義*

*上記の（ア）から（エ）のいずれにも属さない企業であって事業を営むものをいいます。ただし、以下に該当する者については、大企業として取り扱わないものとします。*

*・中小企業投資育成株式会社法に規定する中小企業投資育成株式会社*

*・廃止前の中小企業の創造的事業活動の促進に関する臨時措置法に規定する指定支援機関（ベンチャー財団）と基本約定書を締結した者（特定ベンチャーキャピタル）*

*・投資事業有限責任組合契約に関する法律に規定する投資事業有限責任組合*

*（参考）会計監査人の定義*

*株式会社の会計監査を行う公認会計士または監査法人。会社法337条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つ。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行う。なお、大会社・委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができる。*

２－５. 研究実施場所

*＊提案の研究開発を実施する場所と、その選定理由を記載してください。特に実施場所が他法人や本邦外などである場合は、その選定理由を記述してください。*

（記載例）

○○株式会社：○○開発センター

選定理由　：□□□□□のため

●●株式会社（再委託先）：○○開発センター

選定理由　：□□□□□のため

▲▲大学（再委託先）：○○研究室

選定理由　：□□□□□のため

△△大学：○○研究室

選定理由　：□□□□□のため

□□研究所：○○センター

選定理由　：□□□□□のため

２－６.国立研究開発法人又は公益法人（社団法人・財団法人）の当該分野における専門的見地の優位性の説明（国立研究開発法人又は公益法人が実施する研究開発項目に限る）

*＊国立研究開発法人又は公益法人（社団法人・財団法人を含む）が実施する研究開発項目について、提案テーマの技術分野において、上記機関が技術的な優位性を有することを記載してください。*

*※上記の実施機関を含まない提案の場合は記載不要ですので「なし」と記載してください。*

３. 当該技術又は関連技術の研究開発実績

３－１. 当該提案に有用な研究開発実績

*＊本提案に係る全ての研究機関（共同実施先及び再委託先を含む。）を対象に、提案する研究開発の方式又は方法に関する国内外の状況や、その中での応募者の本研究開発若しくは本研究開発の円滑な遂行に資する関連研究開発の実績、及びその位置づけ等を、研究発表等を引用して記載し、提案内容を遂行できる能力を有していることを説明してください。*

３－２．関係する研究開発テーマの事後評価報告書

*＊今回提案する研究開発に関連するテーマを、他の国立研究開発法人や公設試験研究機関等で実施しており、当該研究が終了し、事後評価等を受けている場合には、任意で当該事後評価等の内容を記載してください。また、当該事後評価報告書（写）を提案書に添付してください。*

*＊本先導研究プログラムを通じて、他の国立研究開発法人や公設試験研究機関等における顕著な学術研究等の成果について、政策目標の達成や将来の社会実装につなげていく観点から、審査において事後評価報告書等の内容を加味します。ただし、他の国立研究開発法人や公設試験研究機関等で実施した研究開発と重複する内容の研究開発を本事業で実施することはできません。*

*※該当しない場合は「なし」と記載してください。*

国立研究開発法人や公設試験研究機関等の名称：○○○○○○○○○○

事後評価報告書の名称：○○○○○○○○○○

事後評価報告書の公表時期：２０ＸＸ年○月

事後評価結果の概要（２００字程度で簡潔に）：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

事後評価報告書がホームページに掲載されている場合はそのURL

*https:/・・・・*

３－３. 当該提案に使用する予定の現有設備・装置等の保有状況

*＊本研究開発を進めるに当たって必要と考えられる主な設備の中で、応募者が保有する設備状況とその用途を記載してください。*

（例　示）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  設　備　名　称 |  内　　　　容（使用目的・仕様等を記入してください） |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

４. 類似の研究開発

４－１. 現に実施あるいは応募している公的資金による類似の研究開発

*【記載要領】*

* *現に実施あるいは応募している公的資金による類似の研究開発がある場合には、以下の【記載例】に沿って、その制度名、事業概要及び本提案との差異等について説明してください。（再委託先・共同実施先分も含みます）。*
* *該当が無い場合には、表は削除の上、「該当無し」と記載してください。*

*【記載例】*

|  |  |
| --- | --- |
| 配分機関名 | *▲▲省* |
| 制度名 | *○○○○補助金* |
| 事業者名 | *◇◇株式会社* |
| 研究期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| 予算額（受入研究費額） | *○○○○円* |
| 事業概要（目標・成果） | *簡潔かつ明瞭に記述してください。* |
| 本提案との差異 | *本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。重複がある場合はその旨記入ください。**※重複がある提案中又は提案予定の事業が採択（あるいは採択予定）となった場合は、遅滞なく、NEDOへその旨連絡ください。* |

４－２. 現に実施している自己資金による類似の研究開発

*【記載要領】*

* *本提案の研究開発と並行して類似の自社研究を続ける場合には、その研究概要、目標（性能等）を明らかにしてください。また、受託を希望している研究と類似する自社研究を明確に区別できることを説明してください。（再委託先・共同実施先分も含みます）*
* *該当が無い場合には、「該当無し」と記載してください。*

４－３.その他の研究費の応募・受入状況

*【記載要領】*

* *「競争的研究費の適正な執行に関する指針」（以下、「指針」という）に基づき、応募された研究課題が研究費の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題の遂行に係るエフォートを適切に確保できるかどうかを確認するために、研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者（再委託先・共同実施先分も含む）について必要な情報を求めることとしています。*
* *研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者（再委託先・共同実施先含む）が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の公的資金以外のその他の研究費（国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの（※）。）の状況（配分者名、制度名、研究課題、実施期間、予算額、エフォート）を【記載例】に沿って、記入してください。*

*（※）「その他の研究費」の範囲は、「指針」において「所属する機関内において配分されるような基盤的経費又は内部資金、商法で定める商行為及び直接又は間接金融による資金調達を除く」、とされています。民間企業については、会社法第５条において、会社がその事業としてする行為及びその事業のためにする行為は商行為とする、と規定されています。従って、民間企業同士の共同研究や受託開発などは商行為に該当し、指針における「その他研究費」には含まれません。また、民間企業が社債・株式を発行して、証券市場を通じて調達した資金や、銀行などの金融機関からの借り入れで調達した資金も、「その他研究費」には含まれません。*

* *ただし、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき、NEDOや採択審査委員、共同提案する他の事業者〈代表法人等〉に情報開示が困難な場合など、やむを得ない事情により具体的な記載が難しい場合は、エフォートのみ提出でも可能です。この場合においても必要に応じて所属機関に照会を行うことがあります。*
* *研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者が申請時に記載する役職以外で、他機関における役職がある場合は、機関名・役職（兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）に関する情報を【記載例】に沿って、記入してください。*
* *研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、研究開発統括責任者候補及び各法人の研究開発責任者が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき、所属機関に適切に報告をしている旨の誓約を【記載例】に沿って、記入してください。*
* *記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*
* *公募要領に記載の「「不合理な重複」及び「過度の集中」の排除」も併せてご参照ください。*

*【記載例】*

①研究開発統括責任者候補：*○○株式会社　○○　○○（氏名）*

【研究費】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相手機関名（国名） | 制度名/研究課題名 | 受給/契約状況 | 研究期間 | 予算額（受入研究費額） | ｴﾌｫｰﾄ(％) |
| *○○省（日本）* | *××補助金/△△の開発* | *契約中* | *2023.4**－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *○○財団（日本）* | *××事業/△△の開発* | *申請* | *2021.4**－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *××株式会社**（米国）* | *■■の要素技術開発* | *契約中* | *2018.4**－2023.3* | *000,000千円* | *20* |
| *―* | *―* | *―* | *―* | *―* | *15* |

【所属機関・役職】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | 役職 |
| *○×研究所* | *主任研究員* |
| *○○大学* | *名誉教授* |
| *××株式会社* | *顧問* |

【誓約】

「*○○株式会社　○○　○○（氏名）*」は、上記に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づきに適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。

②研究開発責任者：*△△大学　○○　○○（氏名）*

【研究費】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相手機関名（国名） | 制度名/研究課題名 | 受給/契約状況 | 研究期間 | 予算額（受入研究費額） | ｴﾌｫｰﾄ(％) |
| *○○省（日本）* | *××補助金/△△の開発* | *契約中* | *2023.4**－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *○○財団（日本）* | *××事業/△△の開発* | *申請* | *2021.4**－2025.3* | *000,000千円* | *10* |
| *××株式会社**（米国）* | *■■の要素技術開発* | *契約中* | *2018.4**－2023.3* | *000,000千円* | *20* |
| *―* | *―* | *―* | *―* | *―* | *15* |

【所属機関・役職】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | 役職 |
| *○×研究所* | *主任研究員* |
| *○○大学* | *名誉教授* |
| *××株式会社* | *顧問* |

【誓約】

「*△△大学　○○　○○（氏名）*」は、上記に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づきに適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。

③研究開発責任者：*□□研究所　○○　○○（氏名）*

【研究費】

　・・・

５. 研究開発予算と研究員の年度展開及び予算の概算

５－１. 研究開発予算と研究員の年度展開

*＊何の研究開発項目をどのような手順で行い、どの程度の経費が必要であるか以下のような一覧表にまとめてください。表は別添３「体制図、総括表」にある「研究開発予算と研究員の年度展開」のシートに記載し、作成した表を図の形式で提案書に貼り付けてください。*

*＊共同提案の場合、各社ごとに提案された研究開発分担項目及び必要経費を分けて記入してください。なお、参考のため、研究計画スケジュールを表す線の下の（　）内には、その年度に投入される研究員の人数を記入してください。*

 

*エクセルシートで表を作成し、この部分に図の形式で貼り付けてください。*

*その際、表下段に記載の（注）を入れないようにご留意ください。*

５－２. 予算の概算

*＊研究開発に必要な経費の概算額を研究開発テーマごとに、業務委託費積算基準（*[*https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html*](http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html)*）に定める経費項目に従って、記載してください。*

(1) 総括表

*＊研究開発に必要な経費の概算額をまとめ、総括表を作成してください。表は別添３「体制図、総括表」にある「(1)総括表」のシートに記載し、作成した表を図の形式で提案書に貼り付けてください。*

*(注)1. 再委託先又は共同実施先は、委託先の契約金額の内数として、再委託先等の金額（消費税込）を()書きで記載してください。再委託先・共同実施先の契約金額は、委託先の契約金額の50％未満です。*



*エクセルシートで表を作成し、この部分に貼り付けてください。*

*その際、表下段に記載の（注）を入れないようにご留意ください。*

 (2) 委託先／研究分担先／分室総括表

*＊研究開発に必要な経費の概算額を委託先機関ごとにまとめ、委託先総括表を作成してください。表は別添３「体制図、総括表」にある「(2)委託先総括表」から機関ごとに該当のシートに記載し、作成した表を図の形式で提案書に貼り付けてください。経費項目はそれぞれの業務委託積算基準（国立研究開発法人等「業務委託費積算基準（国立研究開発法人等用）」（*[*https://www.nedo.go.jp/content/100906383.pdf*](https://www.nedo.go.jp/content/100906383.pdf) *参照）、大学等「業務委託費積算基準（大学用）」（*[*https://www.nedo.go.jp/content/100906384.pdf*](https://www.nedo.go.jp/content/100906384.pdf) *参照）、それ以外の機関「業務委託費積算基準」（*[*https://www.nedo.go.jp/content/100919901.pdf*](https://www.nedo.go.jp/content/100919901.pdf) *参照））に準じて作成ください。入力欄へは、1000円未満を切り捨てて記載をお願いいたします。*

　機関名：○○株式会社



*エクセルシートを作成し、この部分に貼り付けてください。*

*その際、エクセルシート上の表の下段に記載されている（注）を入れないようにご留意ください。*

*シートは次のいずれかを選択して作成してください。*

*ア．企業等*

*イ．国立研究開発法人等*

*ウ．大学等*

*エ．消費税の免税事業者等*

*中小企業等はアまたはエのシートを用い、間接経費率を20％に変更してください。*

*すべての連名事業者について、エクセルシートを作成し、順に貼り付けて下さい。*

(3) 再委託先／共同実施先総括表

*＊再委託・共同実施先があれば作成してください。表は別添３「体制図、総括表」にある「(3) 再委託・共同実施総括表」から該当のシートに記載し、作成した表を図の形式で提案書に貼り付けてください。*

機関名：▲▲大学



*エクセルシートを作成し、この部分に貼り付けてください。*

*その際、エクセルシート上の表の下段に記載されている（注）を入れないようにご留意ください。*

*シートは次のいずれかを選択して作成してください。*

*ア．企業等*

*イ．国立研究開発法人等*

*ウ．大学等*

*エ．消費税の免税事業者等*

*中小企業等はアまたはエのシートを用い、間接経費率を20％に変更してください。*

*すべての再委託・共同実施先の事業者について、エクセルシートを作成し、順に貼り付けて下さい。*

５－３．当該提案において導入を予定している機器装置・備品

　*＊本提案の研究開発において、導入を計画している設備備品の単価が１件 500万円（税込）を超える場合、その設備備品１件ごとに下記表へ記入してください。（件数により表を増やして記載ください。不要の場合は表を削除ください。）*

*1件500万円を超える設備備品がない場合は、表を削除し「なし」と記載してください。*

*１－１項の研究項目と同一の名称にすること。*

高額設備備品補足説明（１件目）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目及び導入予定時期 | 研究項目○○／２０○○年○月頃 |
| 研究開発機関名 | ○○株式会社*（設備導入先）* |
| 設備備品名・金額 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇装置　　　○○百万円 |
| 発注形態 | １．カタログ、パンフレット販売装置（オプション含む）等の発注２．詳細仕様書に基づく単品製作発注*＊１．または２．のいずれかを選択。１の場合カタログ、パンフレットの写しを添付してください。* |
| １．設備備品の主要仕様 | *＊箇条書きで主要必要仕様を簡潔に記載してください。* |
| ２．必要理由 | ①導入効果：*提案研究実施項目内容に照らし、どのように活用するのか、導入によりどのような効果があるのか、具体的に記載してください。*②購入理由：*新規購入が必要な理由、外注や他機関装置を借りるなどで対応できない理由を簡潔に記載してください。*③金額の妥当性：*提案研究実施項目内容に照らし、オーバースペックでないか、積算の金額の根拠を説明してください。* |
| ５．発注予定先（候補） | *＊現時点で候補とする発注予定先を記してください。* |

高額設備備品補足説明（２件目）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目及び導入予定時期 | 研究項目○○／２０○○年○月頃 |
| 研究開発機関名 | 国立大学法人△△大学*（設備導入先）* |
| 設備備品名・金額 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇装置　　　○○百万円 |
| 発注形態 | １．カタログ、パンフレット販売装置（オプション含む）等の発注２．詳細仕様書に基づく単品製作発注*＊１．または２．のいずれかを選択。１の場合カタログ、パンフレットの写しを添付してください。* |
| １．設備備品の主要仕様 | *＊箇条書きで主要必要仕様を簡潔に記載してください。* |
| ２．必要な理由 | *＊提案研究実施項目内容に照らし、どのように活用するのか、導入によりどのような効果があるのか、具体的に記載してください。**＊新規購入が必要な理由、外注や他機関装置を借りるなどで対応できない理由を簡潔に記載してください。**＊提案研究実施項目内容に照らし、オーバースペックでないか、積算の　　金額の根拠を説明してください。* |
| ５．発注予定先（候補） | *＊現時点で候補とする発注予定先を記してください。* |

高額設備備品補足説明（３件目）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目及び導入予定時期 | 研究項目○○／２０○○年○月頃 |
| 研究開発機関名 | 国立研究開発法人□□研究所*（設備導入先）* |
| 設備備品名・金額 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇装置　　　○○百万円 |
| 発注形態 | １．カタログ、パンフレット販売装置（オプション含む）等の発注２．詳細仕様書に基づく単品製作発注*＊１．または２．のいずれかを選択。１の場合カタログ、パンフレットの写しを添付してください。* |
| １．設備備品の主要仕様 | *＊箇条書きで主要必要仕様を簡潔に記載してください。* |
| ２．必要な理由 | *＊提案研究実施項目内容に照らし、どのように活用するのか、導入によりどのような効果があるのか、具体的に記載してください。**＊新規購入が必要な理由、外注や他機関装置を借りるなどで対応できない理由を簡潔に記載してください。**＊提案研究実施項目内容に照らし、オーバースペックでないか、積算の　　金額の根拠を説明してください。* |
| ５．発注予定先（候補） | *＊現時点で候補とする発注予定先を記してください。* |

６. 契約に関する合意

　（1）契約に関する合意

*【記載要領】*

* *NEDOから提示する契約書（案）に合意することが実施要件となります。*
* *【記載例】の青字部分を書き換えてください。共同提案の場合は、共同提案者全ての代表者（再委託先・共同実施先は除く）からの合意を得た上で、『「○○株式会社○○　○○（代表者氏名）」、「□□株式会社○○　○○（代表者氏名）」及び「○○　○○（代表者氏名）」は、・・』と記載してください。*
* *万が一、契約書（案）について疑義がある場合には、その旨記載するとともに、その内容を示す文書をあわせて提出ください。個別に説明させていただきます。*

*【記載例】*

　「*○○株式会社○○　○○（表紙に記載の法人としての代表者氏名）*」は、本提案テーマの契約に際して、NEDOから提示された契約書（案）に記載された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で提案書を提出します。また、業務の実施においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づいて行います。

（2）本提案書及びその他提出書類に記載された技術情報の確認

*【記載要領】*

* *公募要領の「特許出願の非公開に関する制度の留意点」に記載の通り、特許出願の非公開に関する制度を考慮し、記載・添付する技術情報の取扱いにご注意ください。提案書及びその他提出書類中の技術情報の記載について確認をした後、【記載例】の文章を必ず記載してください。*
* *なお、これにより、提案の内容を十分に説明できない場合には、「対象となる技術内容について別途説明を希望する。」旨を併せてご記載ください。*

*【記載例】*

　本提案書及びその他提出資料中には、保全対象発明の内容、特許庁における一次審査又は内閣府における保全審査中であって特定技術分野と関係し得る特許出願の詳細な技術情報、及び、出願予定の技術情報であって特定技術分野と関係し得る詳細な技術情報については記載されていません。